

自分が“世界”と出会う場所

早来地区 義務教育学校 について

はじめに

令和5（2023）年4月、早来地区に義務教育学校が開校します。

皆さんにもっと新しい学校について知っていただくため、令和3（2021）年8月号より連載をスタートしました。

今月は、子どもたちを含む住民の皆さんが取り組んでいる『みんなの学校をつくる会』に関することを中心にご説明します。

今後広報紙で紹介すること

今後は、次のようなテーマで義務教育学校に関する情報をお伝えしていく予定です。

4月号

正式に決定した新しい学校の名前について

なぜ義務教育学校としたのか、なぜその場所にしたのかなどの理由について

5月号

この学校を建てるためにかかる費用などについて

6月号

制服のデザインについて

7月号

新しい学校の教育目標などについて

8月号

開校までのスケジュールや進捗状況などについて

※皆さんからの質問事項や事業の進み具合などによって、内容を変更することがありますのでご了承ください。

みんなの学校をつくる会とは？

地震により被災した早来中学校を新しく建てようとして決まってきたから、地域の方々と『どのような学校にしていくか』といったことを専門家の方を交えて話し合う場が、平成31年1月から設けられてきました。夜間の開催にもかかわらず、大人だけでなく、児童・生徒の方の参加も自然と増えていき、大変貴重な意見をいただいたことを記憶しています。

【図1】

みんなの学校をつくる会とは？

